

夏の  
理事会

# 厚労省「方向性文書」について議論

## 災害見舞金の要領も決める



多岐にわたる議題について熱心に協議

夏の定例理事会が8月26日午前11時から午後5時まで、京都市内で開催されました。片山禎夫理事を除く全理事と中野篤子監事が出席しました。今回の重要な議題の一つは4月の介護保険制度改革の評価をすることでした。6月の総会や6カ所でのブロック会議で出された意見を踏まえて、「家族の会」としての考えを議論しました。近く支部の意見も求めて、10月の支部代表者会議で決定、公表します。

もう一つの重要な議題は、6月に厚労省が発表した「今後の認知症施策の方向性について」で、理事会として理解を深めるための議論でした。全理事が意見を述べ、共感、賛同できるところ、疑問に思うところなどを出し合いました。その結果、「家族の会」が長年にわたって主張してきた内容が反映されてい

る部分も多く、この文書によって施策がさらに前進するように取り組むこととなりました。

昨年の東日本大震災義援金を引き継ぐ、災害見舞金の配分要領を定めました。最近は大雨、竜巻などの災害が頻発していますが、これらで被害を受けた会員に見舞金をお渡しするものです。詳しくは近く支部に通知されます。

10月に全国研究集会を開催する兵庫県支部から、南條静子実行委員長、河西美保副実行委員長（いずれも支部副代表）が出席し、現在の取組状況を報告しました。開催経験のある理事から、たくさんのアドバイスと激励が行われました。

## 2012年度「世界アルツハイマーデー」に寄せて

2012年9月 厚生労働大臣 小宮山 洋子

2012年度「世界アルツハイマーデー」を迎えるにあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と国際アルツハイマー病協会が定めてから今年で19年目を迎えます。その間、アルツハイマー病をはじめとする認知症への理解の向上を図る活動や、認知症の人とそのご家族を支援する活動等が世界各国で行われてきました。

日本でも、国際アルツハイマー病協会加盟の「公益社団法人認知症の人と家族の会」が中心となって、認知症のご家族の交流や相談、認知症介護に関する調査や研究などを進めてこられ、国内外での啓発活動を開かれています。関係者の皆様のご尽力に、深く敬意を表します。

厚生労働省は、今年6月に認知症施策検討プロジェクトチームの取りまとめとして「今後の認知症施策の方向性について」を公表しました。この取りまとめでは、認知症になども本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会の実現を目指しています。

この実現に向け、①標準的な認知症ケアパスの作成・普及②早期診断・早期対応③地域での生活を支える医療サービスの構築④地域での生活を支える介護サービスの構築⑤地域での日常生活・家族の支援の強化⑥若年性認知症施策の強化⑦医療・介護サービスを担う人材の育成という7つの視点に立って施策を進めていくことにしています。今後は、この取りまとめに基づき、関係省庁、地方公共団体、「公益社団法人認知症の人と家族の会」をはじめとする関係団体等と連携して、計画的に認知症施策を推進していくので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

「世界アルツハイマーデー」には、記念講演会をはじめ、全国各地で様々な催しが行われると伺っています。こうした皆様の取組が、国民の皆様の認知症に対する関心を一層高めるとともに、正しい理解を深めていただくきっかけになることを心から期待しています。

「公益社団法人認知症の人と家族の会」の皆様のますますのご発展をお祈りして、私のお祝いの言葉といたします。

# 会員さん からの お便り

4月号「リレーエッセー」を読んで

## 心身のケアの両立できる 場を求めます

鹿児島県・Nさん 32歳 男

4月号の12ページの内容に深く共感しました。私は精神科病院のソーシャルワーカーとして、まさに一般病院から退院を求めるご家族の相談を聴かせていただいております。精神科病院では身体合併症やリハビリは専門外と言われ、究極の2択を迫られるご家族と接する度に心身のケアが両立できる場の確立が求められていると痛感します。

## 父の言葉の重み

富山県・Aさん 51歳 女

母が特養に入り、その2ヵ月後に父が亡くなって、早1年半余りになりました。なんかいつもいっぱいいいっぱいでしたが、ぼ～れば～れで胃ろうの記事がのっていたので「そういえば母もこれからいろいろあるかもしれない…」と思い、考えてみました。

4～5年前、母が褥瘡で入院した時、いろいろな書類を書きましたが、その中に延命治療についてのことが書いてあって、看護師にどうされますかと聞かれました。隣にいた父は私に「お母さんは望んでいないと思う」と言いました。私も同じことを思いました。

私の個人的感情とか、経済的状況は無視して、「母は望んでいないと思う」と言った父の言葉が一番重みのあるものとして私の心の中にあります。

## 最近興奮することが多い 夫に困っています

埼玉県・Yさん 65歳 女

姑を見送って1年半。A会員を15年続け、憧れのB会員になったのも束の間、今度は夫71歳に認知症の症状と思われるものが見られるようになりました。プライドの高い夫のこと、もちろん医師の診断を受けるはずがありません。

最近、家庭内で暴力事件を起こし、警察のご厄介になりました。その時、私と娘だけで本人抜きに以前の精神科医を受診しました。医師は本人を診ていないので断定はできないが、認知症とアスペルガー症候群\*の疑いがあると言われました。元々、55歳で発症した心筋梗塞の後、精神不安定で精神科の薬も服用していました。2008年から犬を飼っていたお陰で心が落ち着き受診をやめていましたが、最近興奮することが多く困っていました。

アスペルガー症候群の本を読み、結婚以来感じていた主人の他人とうまく協調できない言動が理解できました。私の兄夫婦にもこの本を読んでもらっています。近所の人や知人には「夫は認知症が始まっている」と話しています。

\*アスペルガー症候群（高機能自閉症）：発達障害の中で知的な障害がなく、症状として「社会性の欠如」「コミュニケーション能力の欠如」「強いこだわり」などがある。

## 現実を一人 受け止めています

島根県・Yさん 54歳 女

母がアルツハイマー病を10年前に発症し、

現在は要介護5で施設に入所しています。85歳になる父と一緒に家で看れるところまでは頑張ってきましたが、その父も5年前に肺ガンになり、その後も脳梗塞や心不全等色々病気をしてきて、最近は要支援2から要介護1に変わりました。

母が初めて介護認定を受ける時には私と父がいて、今はその父が介護認定を受けるようになったという現実を私一人が受けとめるという切なさに、「誰もが行く道」という言葉を痛感している今日この頃です。

## 距離を置くことの大切さ

徳島県・Iさん 57歳 女

主人は定年で人が変わった様になり、早い目に認知症と診断され、大変苦労しました。

私はヘルパーをし、半日でも外に出て離れる事によって精神的に楽になり、「みんな一緒なんだ」と思えるようになりました。主人の下着を洗うのも、沢山の人達の汚れた下着を洗う事もなんともなくなりました。

狭い家の中で二人きりになるとお互いにイライラ感が出ますが、少し距離を置く事によって、お互いにとても穏やかに過ごせます。

皆さん、工夫をしてみて下さい。楽になりますよ。

## 認知症の対応が不充分

大阪府・Hさん 80歳 男

77歳の家内は肥満で膝の手術をしました。糖尿病もあったので近所の病院で2カ月程入院した後、転院させられました。

その後、1年4カ月程（今まで）入院して認知症を発症し、現在中程度です。入

院までは長男と妻、私の3人暮らしでした。長男は大学卒業後、会社に入社してから体調を悪くし、統合失調症を発症したので、私が二人の面倒を見ています。

弟の方は会社員で孫も1人いますが、嫁さんが身体が弱く介護協力は不可能です。

週4～5回、午後3時から7時過ぎまで病院に行って妻の対応をし、進行を遅らせるよう努力をしています。病院に感じる事は認知症の対応が不充分で情けないです。

## 幸せな認知症？

京都府・Tさん 49歳 女

年老いているのか、認知症がすすんでいるのか、少しづつ、考えたり、笑ったりの行動が長続きしなくなってきた母です。

ごはんの途中、会話の途中、大好きなドライブの途中でも眠くなるのか居眠りを始めたりします。

こんな風に少しづつ弱っていくのかなあと思います。又、出来るだけ苦しまず、穏やかに弱っていってくれるのなら、本人にとって幸せなのかなとも思います。特に嫌な感情（怒りや不安）も長続きしないので、わりと幸せな認知症なんだろうと思っています。



お待ちしています！

■『ぼ～れ ぼ～れ』へのご意見やお便りは「家族の会」編集委員会宛にお送りください。

〒602-8143 京都市上京区掘川通丸太町下ル京都社会福祉会館内  
FAX.075-811-8188 Eメール office@alzheimer.or.jp

# 10月は、 神戸に集まろう!!

「神戸で全国研究  
集会あんねん！」

「知っとう！  
いこか！」

第28回

## 認知症の人と家族への援助をすすめる 全国研究集会in兵庫

日時●2012年10月28日(日)

午前9:30～午後4:00

場所●神戸文化ホール(大ホール)

〒650-0017 兵庫県神戸市中央区楠町4-2-2

### テーマ 今一度、認知症の人と家族に目を向けよう

講演では皆さんに新しい医療とのかかわりを  
提案します。

精神科の認知症医療については問題が多いとい  
われています。薬で行動を抑えて、ベッドに寝た  
きりにさせる…。否定的なとらえ方が多い中、前  
田潔先生は「精神科こそが認知症をみるべきだ」と  
おっしゃいます。精神科医療がどのように認知  
症に関わっていくのか、関わるべきなのか、実践  
から導いた示唆をお話いただきます。

事例発表も全国の最新の取り組みや実情を4名  
の方に発表していただきます。そしてシンポジウムも見所がたくさんあります。

7月に厚労省が発表した「今後の認知症施策の  
方向性について」で示した“新しいケアの流れ”  
の考え方には、関係者に大きな衝撃を与えました。

策定の中心人物で  
ある勝又浜子室長  
ご本人にお越しい  
ただき、大きく舵  
を切った国の認知  
症施策について説明していただきます。



また、兵庫県を代表する社会福祉法人の施設  
長としてサービスを提供しながら、介護家族の支  
援を続けている高谷育男さん、働きながら介護を  
続けている男性介護者の酒井邦夫さん、施設に預  
けてもなお残るつらさを感じている河西美保さん  
が、自由に議論を交わし、問題の本質に迫ります。

ぜひ、神戸にお越しください。

(兵庫全研実行委員会)

#### 〉 講演



精神科医 前田 潔氏

神戸大学名誉教授 神戸学院大学教授

#### 「精神科医療のなかの認知症医療・介護」

#### 〉 事例発表

##### ●地域での取り組みと制度改正の影響

泉 早苗 氏(青森県、ケアマネジャー)

##### ●被災地の介護家族の暮らしかと願い

今野光子 氏(岩手県、元介護家族)

##### ●男性介護の困難さと要望

谷村忠之 氏(兵庫県、介護家族)

##### ●新しい地域連携の取り組み

丸山貴司 氏(京都府、宇治市地域包括支援センター)

#### 〉 シンポジウム

#### 「認知症の人に本当に必要な介護を確認しよう」

##### ・シンポジスト

勝又浜子 氏(厚生労働省認知症・虐待防止対策推進室室長)

藤原恵美子 氏

(兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課課長補佐)

酒井邦夫 氏(男性介護家族)

河西美保 氏(介護家族)

高谷育男 氏(神港園しあわせの家施設長)

##### ・コメンテーター

前田 潔 氏(神戸大学名誉教授)

##### ・コーディネーター

南條静子 氏(兵庫県支部副代表)

●参加費：2,000円+弁当代（700円、希望者のみ） ●定員：1,400名

公益社団法人認知症の人と家族の会・兵庫県支部 第28回全国研究集会実行委員会（担当：脇田）

〒652-0803 兵庫県神戸市兵庫区大開通6丁目3-23-301

TEL：078-381-9473 申し込み専用ファックス：078-330-8430 ※「家族の会」ホームページからオンラインで参加申し込みができます。

# いきいき 「家族の会」まちでも村でも

悪戦苦闘の中にも作る楽しさ…

山口県  
支部

山口県支部の支部会報は隔月発行で昨年7月に第1号が発行されました。今年7月号で2年目ですが、各号ともはじめての取り組みとは思えないような洗練されたレイアウトで充実した支部活動が紹介されています。

編集にたずさわっているS.Sさんは「メールが打てる程度のパソコン力で早や1年。時間をかけて入力、編集したページが一瞬にして消えてしまったり、文章がとんでもない場所に移動したりと悪戦苦闘の連続でしたが、最近では写真やイラストを入れることもできるようになり、作る楽しさもちょっとぴり味わっています」と話しています。

大好評のリフレッシュ交流会

岐阜県  
支部

6月24日のリフレッシュ交流会で、参加者は、まず、音楽療法士の藤沢礼子先生のユーモアあふれるお話と懐かしい歌を楽しみ、そして、心が解きほぐれ、午後の話し合いに臨みました。和気あいあいと話が弾み、

本音での話し合いになったとのことです。参加者みんながとてもよい顔をされており、まさに名前の通りリフレッシュされたようです。

「私も妻の介護を続けながら、微力でも何かのお役に立てればと願っています」と、参加者のR.Sさんが交流会の感想を語っています。

嬉しい 嬉しい30年を祝う会

富山県  
支部

支部設立30周年を祝う会が6月30日に富山市で開かれ、高見国生代表はじめ北陸ブロックの支部代表、笹川のつどいの仲間、田渕保夫・節子夫妻が東京から、中静誠・弘子夫妻が大阪から駆けつけ50名の参加者

で30年を語り合いました。

また、県内外からの170名の方の寄稿による世話人手づくりの30周年記念文集「私と家族の会」も発刊されました。7月号の支部会報では6ページにわたって「仲間に囲まれ、あたたかい会」「嬉しい、嬉しい30年を祝う会」と30周年が報じられています。

ブロック会議がもたらしたもの…

宮崎県  
支部

九州ブロック会議が宮崎市で6月23・24日に開催され、他県の方への歓迎の気持ちも込め、支部からは40名を超える会員が参加しました。2日目の休憩時間に1人の会員さんから「私たちって他県の方と比べ活動が足りないと思う！ 皆に声かけができるいかし

ら!?」という声が届き、ブロック会議直後に食事会を設け、参加者で熱い思いを語り合いました。

「沸き立つような気持ちの盛り上がりが、今、活動につながろうとしています。ブロック会議が支部にもたらした効果で、これほど大きいものは他にあるでしょうか」と世話人の生田みい子さんが語っています。

## 国際交流委員会発 ロシアの巻 「ケアでつながる地球家族」

■ADIに加盟したロシアからも参加があった

東京でのアルツハイマー大学

ADIでは、世界に組織を広め、活動を強化するためにアルツハイマー大学というイベントを毎年各国で開催しています。今年は、東京（日本）で6月18日から4日間開催され、今年3月のADIロンドン会議で加盟が認められたロシアの「アルツハイマー病の人と家族の支援の会」から2名が参加されました。

参加者の希望でオプションとして高齢者施設の見学が企画され、千葉県松戸市にあるグループホーム、小規模多機能の見学

に同行しました。ロシアの他、9カ国から医師、看護師、施設長など10名が参加。1時間余りでしたが、日本の現状を興味深く学ぼうとしている様子が感じ取られました。特に介護保険制度に関心があるようで、「この施設の利用料はいくらか？」「利用者に医療が必要な時はどうするのか？」等運営する側からの質問が多かったようです。日本の施設における認知症ケアについて感想をお聞きする時間がなかったのはとても残念でした。



アルツハイマー大学で来日し施設見学に参加した各国のメンバー

(国際交流委員 植松多恵子)



## 今月の本人 Aさん 66歳（新潟県支部）

Aさんは66歳。2年前に認知症の診断を受けました。自動車関係の仕事を退職後、実家の家業を手伝っていましたが、仕事の段取りなどがうまくできなくなり悩んだ末に受診。まだ病気のことを近所の人には話せないと奥さんは言います。話すことで夫への接し方や近所付き合いが悪い方向へ変化するのではないかと心配されているのです。

### 一番よかったのは、話を よく聞いてもらったこと

体は元気なAさんは、冬は除雪、夏は草刈りを頼まれ、その日は張り切って出かけていきます。つどいに参加した時は得意のオセロでサポーターと勝負。真剣勝負の末、見事に勝利し得意満面でした。でも



#### 一番よかつ

たことは、自分の話をよく聞いてもらえたことだと話していました。スキーの話の時は、それはそれは楽しそうで面白い話にサポーターの方が楽しませてもらったそうです。



つどいの会場の様子

本人にも居場所が  
よくわかる支部の幟

新潟県支部の若年認知症のつどいは、本人さんをサポートする人が足りないという課題がありました。昨年12月に県と共に開催されたキャラバンメントを対象とした若年認知症の研修会を、「家族の会」理事の片山禎夫先生を講師に開催し13名が登録。

3月のつどいでは4名の本人に7名のサポーターが対応。途中で嫌になって部屋を飛び出すのではないかと案じておりましたが、介護者のつどい終了後、家族が迎えに行くと「もう帰るの？」とい

う言葉に、充実した時間を過ごしてもらえたことが分かりました。

まだまだ病気への偏見が根強く、そのことを感じるからこそ病気のことが話せないです。地域の人にもっと認知症への理解を深めてもらえるように、私たちの活動を今まで以上にアピールしていかねばと強く感じた日でした。

(支部世話人代表 金子裕美子)

### 情報 コーナー 交流の場

- 宮城●10月4日・18日(土) 午前10:30～午後3:00／翼（本人・若年）のつどい→泉社会福祉センター
- 山形●10月20日(土) 午後7:00～8:30／本人のつどい→米沢市置賜文化センター
- 千葉●9月30日(日) 午後1:00～4:00／若年のつどい→千葉県社会福祉センター3階
- 富山●10月6日(土) 午後1:00～3:30／て

るてるぼうずの会→サンフォルテ2階介護実習室

滋賀●10月10日(水) 午前10:00～午後2:00／ピアカウンセリング→滋賀県立成人病センター職員会館2階

京都●10月21日(日) 午後1:30～3:30／若年のつどい→京都社会福祉会館

鳥取●10月28日(日) 午前11:00～午後3:00／若年のつどい「にっこりの会」→地域交流センター「笑い庵」「笑い庵力フェ&マルシェ」(米子市)

広島●10月6日(土) 午前11:00～午後3:30

／陽溜まりの会東部→福山すこやかセンター

10月13日(土) 午前11:00～午後3:30／陽溜まりの会広島→県立美術館・縮景園

10月27日(土) 午前11:00～午後3:30／陽溜まりの会西部→廿日市市あいプラザ

宮崎●10月8日(月祝) 午前11:00～午後2:00／本人交流会「今日も語ろう会」→宮崎県支部事務所

詳細は各支部まで